

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	東北工業大学
設置者名	学校法人東北工業大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
工学部	電気電子工学科	夜・通信	7	2	12	21	13		
	情報通信工学科	夜・通信			11	20	13		
	建築学科	夜・通信			12	21	13		
	都市マネジメント学科	夜・通信			12	21	13		
	環境エネルギー学科	夜・通信			12	21	13		
ライフデザイン学部	クリエイティブデザイン学科	夜・通信		2		11	20	13	
	安全安心生活デザイン学科	夜・通信			12	21	13		
	経営コミュニケーション学科	夜・通信			12	21	13		
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>◎ 東北工業大学 web ページにて公開</p> <p>○(<a href="http://www.tohtech.ac.jp/disclosure/index.html">http://www.tohtech.ac.jp/disclosure/index.html</a>)</p> <p>HOME &gt; 大学概要 &gt; 情報公開 &gt; 公表データ &gt; 教員組織ならびに各教員に関する情報 &gt; 実務経験のある教員等による授業科目の一覧</p> <p>○工学部</p> <p>(<a href="http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/index.html">http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/index.html</a>)</p> <p>HOME &gt; 学部・大学院 &gt; 工学部 &gt; 工学部シラバス &gt; 実務経験のある教員等による授業科目の一覧</p> <p>○ライフデザイン学部</p> <p>(<a href="http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/index.html">http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/index.html</a>)</p> <p>HOME &gt; 学部・大学院 &gt; ライフデザイン学部シラバス &gt; 実務経験のある教員等による授業科目の一覧</p> <p>※ 工学部、ライフデザイン学部のそれぞれのページ下段に、シラバスとして学生便覧および教養教育科目、各学科のシラバスを掲載</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	
(困難である理由)	該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東北工業大学
設置者名	学校法人東北工業大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人東北工業大学 事業報告書にて公表 東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 情報公開 > 公表データ > 財務情報 > 事業報告書 (P. 4) ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/jigyohokoku30.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/jigyohokoku30.pdf</a> )
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社代表取締役	2017.12.4 ～ 2021.12.3	第三者の視点での 学校経営のチェック機能
非常勤	株式会社代表取締役社長		
非常勤	法律事務所所長		
非常勤	株式会社取締役監査等委員		
非常勤	株式会社取締役社長		
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東北工業大学
設置者名	学校法人東北工業大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)作成については、FD研修会の一環として、2019年度に授業を担当する全専任教員(非常勤講師として授業を担当し、かつ、シラバス作成を担当する専任職員を含む)にLMS上で研修資料を閲覧・ダウンロードし受講する方法を実施した。</p> <p>具体的には、授業の達成目標の記載方法、アクティブ・ラーニングや地域志向科目に該当する場合の記載方法、成績評価の基準等について示したものである。</p> <p>この研修会では、閲覧履歴、資料のダウンロード履歴を確認し、全該当教員が受講したことを確認した上で研修の終了とした。</p> <p>また、記載項目、記載内容の適切性の確認のため、各学科の教務委員等により、当該学科のシラバスの第三者チェックを行っている(各回の授業計画内容および具体的な授業外学習(予習・復習)内容が明記されているか、成績評価方法の記載内容は適切か、など)。</p> <p>作成・公表については、FD委員会主催の研修会(昨年12月～本年1月『シラバス作成方法について』)を経て、今年度授業開始前に公表を行った。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>授業の方法及び内容等については学生に配布するとともに、ホームページ及び学内ポータルサイトにおいて掲示を行っている。</p> <p>工学部 学生便覧 (<a href="http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf</a>)</p> <p>教養科目 シラバス (<a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_gene_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_gene_syllabus2019.pdf</a>)</p> <p>電気電子工学科 シラバス (<a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/E_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/E_syllabus2019.pdf</a>)</p> <p>情報通信工学科 シラバス (<a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/T_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/T_syllabus2019.pdf</a>)</p> <p>建築学科 シラバス (<a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/A_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/A_syllabus2019.pdf</a>)</p> <p>都市マネジメント学科 シラバス (<a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/C_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/C_syllabus2019.pdf</a>)</p> <p>環境エネルギー学科 シラバス (<a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/K_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/K_syllabus2019.pdf</a>)</p>

<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ライフデザイン学部 学生便覧  <a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_syllabus2019.pdf</a>)            教養科目 シラバス  <a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_gene_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_gene_syllabus2019.pdf</a>)            クリエイティブデザイン学科 シラバス  <a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/CD_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/CD_syllabus2019.pdf</a>)            安全安心生活デザイン学科 シラバス  <a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/SD_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/SD_syllabus2019.pdf</a>)            経営コミュニケーション学科 シラバス  <a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/MC_syllabus2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/MC_syllabus2019.pdf</a>)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の単位の認定は、当該授業科目を履修した学生に対し、原則として試験によってこれを行う。</p> <p>各授業科目の試験成績は、100点をもって最高とし、60点以上を合格としているが、病気その他やむを得ない事由により定期試験を欠席した者に対し、追試験を行うことがある。また、厳格な成績評価を実施するため、「東北工業大学成績評価のガイドライン」を定め、ポータルサイトへの掲載により全教員・学生に周知し、運用している。具体的には、「同一科目＝同一内容の徹底」や「学科・センターにおける評価基準についての共通認識の形成」などを基本原則とした成績評価を実施すること、また、GPAを活用した学修指導の実施などを定め、これを徹底している。加えて、シラバスでは各授業科目で授業の達成目標と成績評価方法・基準を明記し（ホームページおよびポータルサイトへの掲載により、全教職員・学生が閲覧可能）、あらかじめ設定した評価基準を満たした履修学生に対して、単位を付与している。</p> <p>また、学生が身につけるべき学士力を各授業科目で評価するとともに、その総合評価として「卒業研修（卒業制作）」の組織的・客観的評価により卒業認定を行っている。</p> <p>東北工業大学学則（第14条～第16条の2）  <a href="http://www.tohtech.ac.jp/kdf1/2018gakusoku_gakubu.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/kdf1/2018gakusoku_gakubu.pdf</a>)</p> <p>工学部            教養科目  <a href="http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_gene_syllabus2019.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_gene_syllabus2019.pdf</a>)            電気電子工学科  <a href="http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/E_syllabus2019.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/E_syllabus2019.pdf</a>)            情報通信工学科  <a href="http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/T_syllabus2019.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/T_syllabus2019.pdf</a>)            建築学科  <a href="http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/A_syllabus2019.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/A_syllabus2019.pdf</a>)</p>	

都市マネジメント学科  
 ([http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/C\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/C_syllabus2019.pdf))  
 環境エネルギー学科  
 ([http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/K\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/K_syllabus2019.pdf))

ライフデザイン学部  
 教養科目  
 ([http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD\\_gene\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_gene_syllabus2019.pdf))  
 クリエイティブデザイン学科  
 ([http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/CD\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/CD_syllabus2019.pdf))  
 安全安心生活デザイン学科  
 ([http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/SD\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/SD_syllabus2019.pdf))  
 経営コミュニケーション学科  
 ([http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/MC\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/MC_syllabus2019.pdf))

### 3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPAの算出方法およびGPAによる学修指導の基準を定め、公表している各学部の学生便覧に掲載している。

GPAは以下の評価区分及び算出式で求められる。

成績	Grade	Grade Point
90～100点	A	4.00
80～89点	B	3.00
70～79点	C	2.00
60～69点	D	1.00
不可・不適	F	0.00

$$GPA = \frac{(4 \times A \text{の修得単位数}) + (3 \times B \text{の修得単位数}) + (2 \times C \text{の修得単位数}) + (1 \times D \text{の修得単位数})}{\text{履修登録科目の単位数 (F (不可・不適) の科目の単位数を含む) の合計}}$$

小数第3位を四捨五入して第2位まで表示

上記で定められる算出式で各学生のGPAを算出し、成績通知とともに学生に通知するほか、学生カルテシステムの項目として提示し、学生は自らのGPAを常時確認できる。また、教職員も各学生のGPAを学生カルテシステムによって常時確認でき、学科内順位や教養・専門科目毎の平均値等と併せ、学修指導に利用している。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

学生便覧に記載し学生に配布するとともに、ホームページ及び学内ポータルサイトにおいて掲示を行っている。

工学部 学生便覧 (P. 14)  
 ([http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf))

ライフデザイン学部 学生便覧 (P. 14)  
 ([https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD\\_syllabus2019.pdf](https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_syllabus2019.pdf))

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業に要する最低修得単位数は124単位と定めており、本学の学生が身につけるべき学士力(1. 知識と理解力、2. 論理的思考と分析スキル、3. 協調性と適応力、4. コミュニケーションスキル、5. 課題発見とその解決能力、6. 国際理解力と語学力)を学科ごとに評価するとともに、その総合評価として「卒業研修(卒業制作)」の組織的・客観的評価により卒業認定を行う。

その手順として、教務委員会→代議員会→教授会の順に審議を行い認定する。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

下記により学位授与方針/卒業(graduation)ポリシーを公開している。

(<https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html>)

工学部

電気電子工学科

(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/elc/index.html>)

情報通信工学科

(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ice/index.html>)

建築学科

(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/arch/index.html>)

都市マネジメント学科

(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/civ/index.html>)

環境エネルギー学科

(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/eie/index.html>)

ライフデザイン学部

クリエイティブデザイン学科

(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/cd/index.html>)

安全安心生活デザイン学科

(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/sd/index.html>)

経営コミュニケーション学科

(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/mc/index.html>)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東北工業大学
設置者名	学校法人東北工業大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	公表：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 情報公開 > 公表データ > 財務情報 > 2018(平成30)年度計算書類 ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/3_tai_shaku30_02.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/3_tai_shaku30_02.pdf</a> )
収支計算書又は損益計算書	2018(平成30)年度 事業活動収支計算書 公表：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 情報公開 > 公表データ > 財務情報 > 2018(平成30)年度計算書類 ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/2_jig_yokatsudo30.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/2_jig_yokatsudo30.pdf</a> )
財産目録	公表：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 情報公開 > 公表データ > 財務情報 > 2018(平成30)年度計算書類 ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/4_zai_moku30.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/4_zai_moku30.pdf</a> )
事業報告書	公表：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 情報公開 > 公表データ > 財務情報 > 2018(平成30)年度事業報告書 ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/jigyohokoku30.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/jigyohokoku30.pdf</a> )
監事による監査報告(書)	公表：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 情報公開 > 公表データ > 財務情報 > 2018(平成30)年度計算書類 ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/5_kansa30.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/5_kansa30.pdf</a> )

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称：平成31年度事業計画 対象年度： 2019 )
公表方法：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 情報公開 > 公表データ > 財務情報 > 事業計画 ( <a href="https://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/1_keikaku2019.pdf">https://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/images/1_keikaku2019.pdf</a> )
中長期計画 (名称：TOHTECH 2023 対象年度：2019～2023 )
公表方法：東北工業大学ホームページ > (バナー)法人概要 > 法人概要 > 中期計画「TOHTECH 2023」 ( <a href="https://www.tohtech.ac.jp/corporation/index.html">https://www.tohtech.ac.jp/corporation/index.html</a> )

### 3. 教育活動に係る情報

#### (1) 自己点検・評価の結果

公表方法：本学ホームページ上で公表。

(<https://www.tohtech.ac.jp/outline/evaluation/pdf/houkoku/h29kadai.pdf>)

刊行物名：「平成 29 年度 東北工業大学の現状と課題 自己点検・評価報告書」

#### (2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：本学ホームページ及び日本高等教育評価機構ホームページ上で公表。

([https://www.tohtech.ac.jp/outline/juaa\\_25/index.html](https://www.tohtech.ac.jp/outline/juaa_25/index.html))

機構アドレス：

([http://www.jihe.or.jp/kikanbetsu/2013\\_03/15tohoku\\_kogyo.pdf](http://www.jihe.or.jp/kikanbetsu/2013_03/15tohoku_kogyo.pdf))

刊行物名：「平成 25 年度 大学機関別認証評価 評価報告書」



(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	工学部
教育研究上の目的 (公表方法: 東北工業大学ホームページ)	
(概要) 東北工業大学ホームページ → 大学概要 → 情報公開 → 大学学則 ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/kdf1/2018gakusoku_gakubu.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/kdf1/2018gakusoku_gakubu.pdf</a> )	
大学及び工学部、同学部各学科の目的は以下のとおり。 大学の目的 (学則第 2 条) 本学は、「創造から統合へー仙台からの発進ー」のスローガンのもと、学術を中心とした広い知識を授けると共に、人間・環境を重視した工学、及び豊かな人間生活を指向したライフデザイン学を教授研究し、人間性と調和した科学技術を展開させる人材の育成を目的とする。	
工学部の目的 (学則第 3 条第 2 項第 1 号) 工学部は、人間・環境を重視した工学を創造し、社会との真の融合を目指すことにより、地域に根ざした文化と産業の発達に寄与することを目的とする。	
電気電子工学科 (学則第 3 条第 2 項第 2 号) 電気電子工学科は、電気工学と電子工学を基盤として、システム、センシング、デバイスについて研究を行うと共に、学生が専門分野の知識と技術を修得できる実践的教育を行うことにより、将来、ハードウェア、ソフトウェア両技術に柔軟に対応できる人材を育成する。	
情報通信工学科 (学則第 3 条第 2 項第 3 号) 情報通信工学科は、21 世紀の豊かな人間社会を創る上で重要な技術基盤である情報通信技術をソフトウェア、ハードウェアの双方に関し深く教育・研究すると共に、それらを統合・発展させて社会に貢献できる人材を育成する。	
建築学科 (学則第 3 条第 2 項第 4 号) 建築学科は、快適な生活空間を考えるソフト面と、建物を建設するためのハード面をバランスよく教育・研究すると共に、建築に関する実践的な技術と柔軟な創造力を基に、今後多様化する問題解決に貢献できる人材を育成する。	
都市マネジメント学科 (学則第 3 条第 2 項第 5 号) 都市マネジメント学科は、建設技術に関する学術を広く教育・研究すると共に、社会の要請に十分対応できる専門的知識及び科学的知識を身に付け、かつ事業あるいは技術のマネジメント能力を有し、良識と倫理観をもち、地域社会において活躍できる人材を育成する。	
環境エネルギー学科 (学則第 3 条第 2 項第 6 号) 環境エネルギー学科は、持続可能な社会の実現を目指して、人間・環境を重視した工学を教育の理念とし、広範な工業技術をその基盤とするエネルギー開発・管理技術と、多様な情報技術が支える生態保全・修復技術を有機的に結びつけ、活用できる人材を育成する。	

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：東北工業大学ホームページ）</p> <p>（概要）</p> <p>(<a href="https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html">https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html</a>)</p> <p>卒業に要する最低修得単位数は124単位と定めており、本学の学生が身につけるべき学士力（1. 知識と理解力、2. 論理的思考と分析スキル、3. 協調性と適応力、4. コミュニケーションスキル、5. 課題発見とその解決能力、6. 国際理解力と語学力）を学科ごとに評価するとともに、その総合評価として「卒業研修（卒業制作）」の組織的・客観的評価により卒業認定を行う。</p> <p>その手順として、教務委員会→代議員会→教授会の順に審議を行い認定する。</p>						
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：東北工業大学ホームページ）</p> <p>（概要）</p> <p>建学の精神および基本理念に基づき、「専門家として必要な素地、調和の取れた人格、優れた想像力と実行力を備えた人材の育成」を教育方針に定め、伝統と文化を有する東北の中心地の特徴を重視し、その特性を生かし、かつそれを普遍化した学問を教育・研究することにより、社会が真に必要とする優れた人材を育成することとしている。</p> <p>また、学生が身につけるべき学士力として、以下の6つの能力・スキルを定めている。</p> <table border="0"> <tr> <td>1) 知識と理解力</td> <td>2) 論理的思考と分析スキル</td> </tr> <tr> <td>3) 協調性と適応力</td> <td>4) コミュニケーションスキル</td> </tr> <tr> <td>5) 課題発見とその解決能力</td> <td>6) 国際理解力と語学力</td> </tr> </table> <p>これらの学士力を身につけさせるため教育課程表の編成・実施の方針として、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 目標GPAの設定</li> <li>② 各科目と身につけるべき能力の対応関係の明示</li> <li>③ 社会的視点や人間形成に資する内容を盛り込んだ専門と教養の統合</li> <li>④ 初年次からのセミナー系科目と卒業研修科目までの少人数教育の一貫性</li> <li>⑤ 科目間の連携を明示したモデルカリキュラム</li> </ol> <p>としている。</p> <p>東北工業大学ホームページ &gt; 大学概要 &gt; 建学の精神・教育理念 (<a href="https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html">https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html</a>)</p> <p>工学部各学科のカリキュラム編成・実施の方針</p> <p>電気電子工学科 (<a href="https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/elc/index.html">https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/elc/index.html</a>)</p> <p>電気電子工学分野のハードウェアとソフトウェアの専門性を備えた人材育成を目標に、教育・研究指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個の尊重と実践教育を方針として、基礎科目では習熟度別学習に取組み、また演習・実験・卒業研修等の能動的学びにより専門知識と技術を実学として教育する。</li> <li>2. 1、2年次では、一般（基礎）、電気電子工学（基礎）、情報（基礎）から構成される専門基礎科目を設定する。</li> <li>3. 3、4年次では、一般（応用）、電子機械・ロボット、医工学・バイオ、光・情報デバイスの分野に関する電気電子工学（応用）、情報（応用）から構成される専門応用科目を設定する。</li> <li>4. 卒業研修により、課題発見・解決能力とプレゼンテーション能力を修得するように指導する。</li> </ol>	1) 知識と理解力	2) 論理的思考と分析スキル	3) 協調性と適応力	4) コミュニケーションスキル	5) 課題発見とその解決能力	6) 国際理解力と語学力
1) 知識と理解力	2) 論理的思考と分析スキル					
3) 協調性と適応力	4) コミュニケーションスキル					
5) 課題発見とその解決能力	6) 国際理解力と語学力					

情報通信工学科 (<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ice/index.html>)

情報処理技術者、通信技術者を育成するため、情報処理技術と通信技術、これらを融合した技術を体系的に学べるようカリキュラムを編成する。1年次では情報処理技術と通信技術の両方の基礎となる科目を配置し、専門を学ぶ力を付けさせる。2年次から3年次では、情報処理技術と通信技術、および両者の融合分野の専門科目を配置し、高度な専門知識・技術を学べるようにする。さらに、4年次では卒業研修科目を配置し、勉学の集大成としての卒業研究を通して技術者として必要な能力を身に付けさせる。また、通信コースと情報コースのモデルカリキュラムを提供し、深く専門を学べるよう配慮する。

建築学科 (<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/arch/index.html>)

建築技術者に必要とされる基礎的な知識と技能（建築士受験指定科目）は必修科目として確実に修得する。エンジニアリング系科目では主に理論的思考力や問題発見/解決・判断能力などを、デザイン系科目ではコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、企画力などを養う。1年次では建築学に対する理解を深め関心を高める導入教育、1～2年次では建築学主要領域の基礎教育、3～4年次では各領域・分野の知識と技術を統合する教育を行う。講義、演習、実験、課外活動などを有機的に連携させ、「知識・技能」を「経験・体験」に置換することで各分野の統合と協働のもとに成り立つ建築学の姿と、社会の中での建築を意識できるようにする。

都市マネジメント学科 (<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/civ/index.html>)

学習・教育到達目標 A（良識と倫理観）、B（科学的知識）、C（自己啓発）、D（相互理解と協力）、E（専門的知識）、F（語学力と国際性）を学生が達成できるよう、授業科目を配置している。

シラバスでは、各科目のカリキュラム中での位置づけを、学習内容の関連性の流れを主眼とした「履修の流れ」として図示している。

さらに、シラバスには、各科目の授業内容・方法（授業の概要、授業計画など）、到達目標（達成目標）、成績の評価方法・評価基準はもちろんのこと、学習・教育到達目標と学習・教育到達目標（A）～（F）との関係の強さを「%」表示で示している。

環境エネルギー学科 (<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/eie/index.html>)

エネルギー工学と環境保全学の専門教育と一般教育及び環境情報に基づくコンピュータ教育との調和がなされ、それら知識を備えたエネルギー技術者・環境保全技術者の育成を目標に教育・研究指導を行う。

1年次に取り組む一般科目では専門の基礎知識としての工学・環境基礎、情報の科目を設定する。

2年次から3年次ではエコロジー、エネルギーの各コースに於いて専門科目として工学・環境基礎、情報、エコロジー、エネルギーの科目を設定する。また演習科目や両コース融合の科目を設定し、講義・演習を通し両者を有機的に結合した高い専門性を持った知識と技術を習得できるようにする。

3、4年次に取り組む卒業研修では、持続可能な社会を支える知識と問題発見能力・解決能力・コミュニケーション能力を持った人材を育成する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：東北工業大学ホームページ）

（概要）

東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 建学の精神・教育理念  
(<http://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/>)

本学の人材育成の目標達成のため、入学後の成長が期待される人材として、以下のいずれかを評価して入学者を受け入れることとしている。

- ①基礎学力を身につけ、総合的な判断力を有すること
- ②専門分野に秀でた能力を有すること
- ③意欲的で目的意識が明確なこと
- ④多様な活動実績や一芸に秀でた能力を有すること

工学部各学科の入学者の受入れに関する方針

電気電子工学科(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/elc/index.html>)

本学で定める入学条件に加え、以下の条件を満たす人の入学を強く希望する。

1. 電気電子工学に興味を持ち、この分野に関して自ら学び・自ら考え、さらに新しいことに自ら挑もうとする強い意志のある人
2. 今日の高高度情報化社会における電気電子、医療、電力、自動車産業の分野で活躍し、自らの専門知識と技術で社会の役に立ちたいと考えている積極性のある人

情報通信工学科(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ice/index.html>)

高度情報化社会を支えている情報通信分野に関心を抱き、将来この分野で活躍したいとの意欲と目的を持ち、基礎学力を身に付け総合的な判断力を有する者、あるいは情報通信分野に秀でた能力を有する者、多様な活動実績等を有する者を求めている。

建築学科(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/arch/index.html>)

本学科の教育理念を理解した上で、私たちの身近にある暮らしや地域/国際社会における事象に強い関心や興味を抱き、より豊かな暮らしと未来のための生活・地域環境づくりに創造的に、そして真摯に取り組む姿勢と、目標や夢、そして高い倫理観を持つ人を求める。将来、本学科で修得した知識と技能を活かして地域・社会で活躍する建築技術者/設計者を目指して努力しようとする学生を入学試験により選抜する。

都市マネジメント学科(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/civ/index.html>)

社会基盤の計画と建設および維持管理に関心をもち、土木分野におけるリーダーまたはプロフェッショナルとして、地域の歴史や風土を生かした未来をデザインし、心豊かに暮らせる個性的で良質な地域社会を創り出そうとする、その意欲と能力のある人を求める。

環境エネルギー学科(<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/eie/index.html>)

再生可能エネルギー工学や環境保全工学及び持続可能な社会を実現して行くための教育や社会制度に関心をもち、基礎学力をしっかりと身につけ、将来、持続可能な社会を実現していくための工学に根ざした自分の専門分野をしっかりと築き上げる意欲を持つ人を求めている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 組織図

(<https://www.tohtech.ac.jp/outline/organization/index.html>)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	ライフデザイン学部
教育研究上の目的 (公表方法: 東北工業大学ホームページ)	
(概要)	
東北工業大学ホームページ → 大学概要 → 情報公開 → 大学学則 ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/kdf1/2018gakusoku_gakubu.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/kdf1/2018gakusoku_gakubu.pdf</a> )	
大学及びライフデザイン学部、同学部各学科の目的は以下のとおり。	
大学の目的 (学則第 2 条)	
本学は、「創造から統合へー仙台からの発進ー」のスローガンのもと、学術を中心とした広い知識を授けると共に、人間・環境を重視した工学、及び豊かな人間生活を指向したライフデザイン学を教授研究し、人間性と調和した科学技術を展開させる人材の育成を目的とする。	
ライフデザイン学部の目的 (学則第 3 条第 3 項第 1 号)	
ライフデザイン学部は、豊かな人間生活を指向したライフデザイン学を創造し、社会との真の融合を目指すことにより、地域に根ざした文化と産業の発達に寄与することを目的とする。	
クリエイティブデザイン学科 (学則第 3 条第 3 項第 2 号)	
クリエイティブデザイン学科は、人々の生活を豊かにする製品や情報システムを総合的な見地から企画、設計、生産するために必要な感性と技術を教育・研究すると共に、それを創造的に作りあげることができる人材を育成する。	
安全安心生活デザイン学科 (学則第 3 条第 3 項第 3 号)	
安全安心生活デザイン学科は、健康で文化的な生活を守り、住まいや地域社会などの基本的な生活手段を守りながら、安全で安心な暮らしと豊かな生活環境を総合的にデザインすることができる人材を育成する。	
経営コミュニケーション学科 (学則第 3 条第 3 項第 4 号)	
経営コミュニケーション学科は、企業組織のマネジメント及び企業の環境マネジメントを中心とする経営コミュニケーション学を研究すると共に、情報技術を含む高いコミュニケーション能力と国際的なセンスを持ち、現代の経営スタイルを身につけた経営者、管理者、起業を志す人材を育成する。	
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 東北工業大学ホームページ)	
(概要)	
( <a href="https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html">https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html</a> )	
卒業に要する最低修得単位数は 124 単位と定めており、本学の学生が身につけるべき学士力 (1. 知識と理解力、2. 論理的思考と分析スキル、3. 協調性と適応力、4. コミュニケーションスキル、5. 課題発見とその解決能力、6. 国際理解力と語学力) を学科ごとに評価するとともに、その総合評価として「卒業研修 (卒業制作)」の組織的・客観的評価により卒業認定を行う。	
その手順として、教務委員会→代議員会→教授会の順に審議を行い認定する。	

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：東北工業大学ホームページ）

（概要）

本学の教育目的として、建学の精神および基本理念に基づき、「専門家として必要な素地、調和の取れた人格、優れた想像力と実行力を備えた人材の育成」を教育方針に定め、伝統と文化を有する東北地方の特徴を重視し、その特性を生かし、かつそれを普遍化した学問を教育・研究することにより、社会が真に必要とする優れた人材を育成することとしている。

また、学生が身につけるべき学士力として、以下の6つの能力・スキルを定めている。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1) 知識と理解力      | 2) 論理的思考と分析スキル  |
| 3) 協調性と適応力     | 4) コミュニケーションスキル |
| 5) 課題発見とその解決能力 | 6) 国際理解力と語学力    |

これらの学士力を身につけさせるため教育課程表の編成・実施の方針として、

- ① 目標GPAの設定
- ② 各学科目と身につけるべき能力の対応関係の明示
- ③ 社会的視点や人間形成に資する内容を盛り込んだ専門と教養の統合
- ④ 初年次からのセミナー系科目と卒業研修科目までの少人数教育の一貫性
- ⑤ 科目間の連携を明示したモデルカリキュラム

としている。

東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 建学の精神・教育理念  
(<https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html>)

ライフデザイン学部各学科のカリキュラム編成・実施の方針

クリエイティブデザイン学科 (<http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/cd/index.html>)

学位授与の方針に対応した以下①～④で構成する。

<1年次～2年次前期>

- ①理論・思想を学ぶ。
  - ・現代社会におけるデザインの意義・役割
  - ・これからのデザインの課題を考える視点
  - ・デザインに関連する幅広い分野の知識
- ②手法・技術を学ぶ。
  - ・アイデアを発想するシステムティックな手法
  - ・的確に他者へ伝えるアナログ・デジタル技術
  - ・より高度なデザイン技術

<2年次後期～4年次>

- ③応用・統合を学ぶ。
  - ・一連のデザインプロセス
  - ・論理的なプレゼンテーション
  - ・グループワーク
- ④社会・コミュニケーションを学ぶ。
  - ・実際の企業・組織活動とデザインの役割
  - ・組織活動で貢献できるコミュニケーション能力
  - ・自分の進路の検討、そこで必要な考え方、スキル

安全安心生活デザイン学科 (<http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/sd/index.html>)

自立的コミュニティと地域産業形成をめざす「くらし系」、ならびに地域・都市における住環境の改善や空間創出をめざす「住まい系」を特色ある科目群として配置している。それら2つの系の共通領域として地域および福祉住環境に関する基礎的内容からなる「地域・福祉系」の科目群を配置する。

1年次から2年次前期までは、この3科目群の基礎を学修し、2年次後期からは、特色ある2系のいずれかに軸足を置き、専門的な学修を行うものとする。すなわち、地域のくらしと住まいにおける「しくみ」と「かたち」について、探求・デザイン実践しながら学修できるようにカリキュラムを編成している。

付記：建築士などのライセンス取得に必要な設計・造形系科目群と、キャリア形成科目群を、上記科目群との関連性を保持するように並列配置している。

経営コミュニケーション学科 (<http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/mc/index.html>)

経営学（経済学・会計学などの周辺領域を含む）、コミュニケーション学（ヒューマンコミュニケーション・メディアコミュニケーション・ビジネスコミュニケーション）およびその両者をつなぐスキルとしての情報通信技術（ICT）を並行して学習する。低学年においては、多くの入門科目を配置し、幅広い学問分野を概観できるようにする。中・高学年においては、各学問分野のコアをカバーした専門科目を学習し、人間・組織・社会に関する課題を多方面から分析する力を養う。集大成として卒業研修を行う。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：東北工業大学ホームページ）

（概要）

東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 建学の精神・教育理念  
(<http://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/>)

本学の人材育成の目標達成のため、入学後の成長が期待される人材として、以下のいずれかを評価して入学者を受け入れることとしている。

- ①基礎学力を身につけ、総合的な判断力を有すること
- ②専門分野に秀でた能力を有すること
- ③意欲的で目的意識が明確なこと
- ④多様な活動実績や一芸に秀でた能力を有すること

ライフデザイン学部各学科の入学者の受入れに関する方針  
クリエイティブデザイン学科(<http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/cd/index.html>)

将来、デザイナーや各種クリエイターとして活躍したい、あるいはデザインの学びを様々な仕事に活かしたいと考えている積極的な意欲のある学生を求める。

安全安心生活デザイン学科(<http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/sd/index.html>)

本学科の教育理念を理解した上で、以下の事柄に関して強い関心と意欲のある学生の入学を強く希望する。

1. 住まいと地域における心身の健康と安全安心に関心を持つこと。
2. 健康で快適そして安全安心な生活環境を、総合的にデザインできるようになりたいという意欲を持っていること。
3. 積極的に他人と関わりあいながら、自分を高め成長する意欲があること。

経営コミュニケーション学科(<http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/mc/index.html>)

経営学（経済学・会計学などの周辺領域を含む）、コミュニケーション学（ヒューマンコミュニケーション・メディアコミュニケーション・ビジネスコミュニケーション）およびその両者をつなぐ技術としての情報通信技術（ICT）を、横断的に学ぶ意欲を持っていること。社会を豊かにし、人の役に立ちたいと願う公共的精神を持っていること。基礎的な学力があり、大学レベルの学問を理解することができること。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 組織図  
(<http://www.tohtech.ac.jp/outline/organization/index.html>)



③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
工学部	—	34人	24人	3人	5人	2人	68人
ライフデザイン学部	—	16人	11人	2人	2人	0人	31人
教養部（一般教育）	—	7人	7人				14人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		151人					151人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：本学ホームページに掲載している教員データベースで公開している。 東北工業大学ホームページ > 大学概要 > 情報公開 > 公表データ > 保有学位・業績（教員データベース） ( <a href="https://www.fdcommit-tohtech.jp/kyoindb/List/">https://www.fdcommit-tohtech.jp/kyoindb/List/</a> )					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>教職員におけるFD推進の図るため、平成30年度は下記の研修会を実施した。</p> <p>【平成30年度 第1回FSD研修会】            日時：平成30年5月25日（金） 16:20～16:40            テーマ：本学における障がい学生支援について            目的：「障がい」および「支援・合理的配慮」に関する理解を深めるため</p> <p>【平成30年度 第2回FSD研修会】            日時：平成30年6月1日（金） 15:00～16:30            テーマ：地域志向教育の新しい試みと地域の課題            目的：「地域志向教育」および「アクティブラーニング」の推進を図るため</p> <p>【平成30年度 第3回FSD研修会】            日時：平成30年7月31日（火） 15:30～17:00            テーマ：地域・企業と連携した大学教職員研修の設計と運用            目的：地域および企業と連携に取り組む教職員の養成を図るため</p> <p>【平成30年度 第4回FSD研修会】            日時：平成30年10月5日（金） 15:00～16:30            テーマ：学生ジェネリックスキルの測定と育成            目的：在学生のジェネリックスキルの分析と育成の推進を図るため</p> <p>【平成30年度 第5回FSD研修会】            日時：平成30年11月30日（金） 15:00～16:30            テーマ：若者のこころの健康について考える ―自殺に傾く学生への対応―            目的：学生の自殺をはじめとするメンタルヘルスについての正しい理解を図るため</p> <p>【平成30年度 第1回FD研修会】            日時：平成30年12月10日（月）～平成31年1月16日（水）17:00            テーマ：平成31年度シラバス作成方法について            目的：効果的な教育の実施を図るため</p> <p>※FD研修会：教育職員対象研修会、FSD研修会：教育職員および事務職員対象研修会</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	520人	572人	110%	2080人	2302人	110%	若干名	1人
ライフデザイン 学部	240人	296人	123%	760人	1070人	140%	若干名	0人
合計	760人	932人	122%	3040人	3372人	110%	若干名	1人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	403人 (100%)	18人 (4.5%)	381人 (94.5%)	4人 (1.0%)
ライフデザイン 学部	212人 (100%)	1人 (0.5%)	200人 (94.3%)	11人 (5.2%)
合計	615人 (100%)	19人 (3.1%)	581人 (94.5%)	15人 (2.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 進学先：東北工業大学大学院、東北大学大学院 就職先：株式会社ユアテック、株式会社協和エクシオ				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	457人 (100%)	371人 (81.2%)	36人 (7.9%)	50人 (10.9%)	0人 (0.0%)
ライフデザイン 学部	232人 (100%)	201人 (86.6%)	6人 (2.6%)	25人 (10.8%)	0人 (0.0%)
合計	689人 (100%)	572人 (83.0%)	42人 (6.1%)	75人 (10.9%)	0人 (0.0%)
(備考) 学業成績不良及び学修意欲の低下、経済的理由による中途退学者数が多い。					

### ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

授業計画書（シラバス）作成については、FD研修会の一環として、2019年度に授業を担当する全専任教員（非常勤講師として授業を担当し、かつ、シラバス作成を担当する専任職員を含む）にLMS上で研修資料を閲覧・ダウンロードし受講する方法を実施した。

この研修会では、閲覧履歴、資料のダウンロード履歴を確認し、全該当教員が受講したことを確認した上で研修の終了とした。

また、記載項目、記載内容の適切性の確認のため、担当教員以外の第三者によるチェックを行っている。

なお、授業の方法及び内容等については学生に配布するとともに、ホームページ及び学内ポータルサイトにおいて掲示を行っている。

### ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

各授業科目の単位の認定は、当該授業科目を履修した学生に対し、原則として試験によってこれを行う。

各授業科目の試験成績は、100点をもって最高とし、60点以上を合格としているが、病気その他やむを得ない事由により定期試験を欠席した者に対し、追試験を行うことがある。また、厳格な成績評価を実施するため、「東北工業大学成績評価のガイドライン」を定め、ポータルサイトへの掲載により全教員・学生に周知し、運用している。具体的には、「同一科目＝同一内容の徹底」や「学科・センターにおける評価基準についての共通認識の形成」などを基本原則とした成績評価を実施すること、また、GPAを活用した学修指導の実施などを定め、これを徹底している。加えて、シラバスでは各授業科目で授業の達成目標と成績評価方法・基準を明記し（ホームページおよびポータルサイトへの掲載により、全教職員・学生が閲覧可能）、あらかじめ設定した評価基準を満たした履修学生に対して、単位を付与している。

また、学生が身につけるべき学士力を各授業科目で評価するとともに、その総合評価として「卒業研修（卒業制作）」の組織的・客観的評価により卒業認定を行っている。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	電気電子工学科	1 2 4 単位	有・無	2 4 単位
	情報通信工学科	1 2 4 単位	有・無	2 4 単位
	建築学科	1 2 4 単位	有・無	2 4 単位
	都市マネジメント学科	1 2 4 単位	有・無	2 4 単位
	環境エネルギー学科	1 2 4 単位	有・無	2 4 単位
ライフデザイン 学部	クリエイティブ デザイン学科	1 2 4 単位	有・無	2 4 単位
	安全安心生活 デザイン学科	1 2 4 単位	有・無	2 4 単位
	経営コミュニケーション 学科	1 2 4 単位	有・無	2 4 単位

G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法：東北工業大学ホームページ 学部・大学院 > 工学部 > 工学部学生便覧（P. 14） ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf</a> ) 学部・大学院 > ライフデザイン学部 > ライフデザイン学部学生便覧（P. 14） ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_syllabus2019.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_syllabus2019.pdf</a> )
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）	公表方法：東北工業大学ホームページ 大学概要 > FD 活動情報 > 授業評価アンケート 平成30年度 授業評価アンケート ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/outline/fd/document/2018/2018classevaluation.pdf">http://www.tohtech.ac.jp/outline/fd/document/2018/2018classevaluation.pdf</a> )

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：東北工業大学ホームページ ①本学 HP > 大学概要 > キャンパスマップ ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/outline/campusmap/index.html">http://www.tohtech.ac.jp/outline/campusmap/index.html</a> ) ②本学 HP > キャンパスライフ > キャンパス紹介 ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/campus/introduction/">http://www.tohtech.ac.jp/campus/introduction/</a> ) ③本学 HP > 大学案内デジタルパンフレット ( <a href="https://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/3198914141/index.shtml?rep=1">https://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/3198914141/index.shtml?rep=1</a> ) ④本学 HP > 資料請求 > テレメールで資料請求（2020 大学案内） ( <a href="http://www.tohtech.ac.jp/admission/request/index.html">http://www.tohtech.ac.jp/admission/request/index.html</a> ) ⑤その他の資料請求方法 電話フリーダイヤルにて大学案内を請求（TEL：0120-611-512）
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載 事項）
工学部	電気電子工学科	980,000 円	250,000 円	320,000 円（1年次）	・設備負担金 ・学生緒費 分担金
	情報通信工学科			330,000 円（2年次）	
	建築学科			340,000 円（3年次）	
	都市マネジメント学科 環境エネルギー学科			350,000 円（4年次）	
ライフ デザイン 学部	クリエイティブ デザイン学科	980,000 円	250,000 円	320,000 円（1年次）	・設備負担金 ・学生緒費 分担金
	安全安心生活 デザイン学科			330,000 円（2年次）	
				310,000 円（3年次） 320,000 円（4年次）	
経営コミュニケーション 学科	経営コミュニケーション 学科	680,000 円	250,000 円	220,000 円（1年次）	
				230,000 円（2年次）	
				240,000 円（3年次）	
				250,000 円（4年次）	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>基礎学力の学修支援を目的とした「学修支援センター」において、入学後すぐに大学の授業になじめるよう入学前教育、ひとり一人の習熟度を把握し効果的で質の高い教育に繋げるために入学直後の学力診断テストおよび大学における授業への不安を抱えている学生の補習教育の一環として、正課外の基礎学力支援講座等の学修支援を実施している。</p> <p>実験・実習・演習・制作等の技術支援を目的とした「技術支援センター」において、電気電子・情報通信・物理系、設計・製図系、材料・構造系、土質系、測量等野外調査系、水質・水理系、水理系、造形系、表現技法系他の実験・自習等の技術系の学びが円滑に行われるよう、学内の実験・研究・附属施設等で技術支援を実施している。</p> <p>留年・休学・退学者の削減を図ることを目的とした「教学アドバイザー制度」、教学アドバイザーによる多様な問題を抱える学生に対する個別指導を実施している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職ガイダンス（1～3年生対象）             <ol style="list-style-type: none"> <li>1～2年生は、自分の能力・適性に応じた進路選択を考えることを促す。</li> <li>3年生は、就職動向の情報共有、具体的な就職活動の方法について指導を行う。</li> </ol> </li> <li>2. 就活支援講座（3年生対象）             <p>3年生を対象とし、就職活動の心構えから自己分析や業界職種研究などを行う。</p> </li> <li>3. 適性検査（1～3年生対象）             <p>自分自身の性格や興味を理解し、学生生活の改善すべき点や進路目標を考える。</p> <p>また、自己PRや職業・業界・企業研究のきっかけづくりに役立てる。</p> </li> <li>4. 業界・企業研究セミナー・OB/OG講演会（1～3年生対象）             <p>企業の人事担当者や各分野で活躍している卒業生から最新の動向やアドバイスを聞き、就職活動に役立てる。</p> </li> <li>5. 個別指導（全学生対象）             <p>キャリアアドバイザーによる「就職活動なんでも相談」や学科就職担当教員による就職相談に加え「進路指導員制度」を導入し、学生一人ひとりに応じた細かい指導を行っている。</p> </li> <li>6. インターンシップ（1～3年生対象）             <p>企業での就業体験を通して自己の職業適性や職業選択について考える。</p> </li> </ol>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生が『心身ともに健康な生活』を送れるように、ウェルネスセンターでは以下のような取り組みを行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学生対象に年1回の健康診断</li> <li>2. 校医や看護師等による健康相談の実施</li> <li>3. 学内での急病や不慮の事故による応急処置</li> <li>4. 専任の専門カウンセラーによる学生生活に関わる相談心理相談（障がい学生支援を含む）</li> <li>5. 保護者からの相談</li> <li>6. ピアサポーター（学生同士の相互扶助を目的とした学生の集まりで、カウンセラーから心理学や傾聴術などを学びながら、大学生活のカギとなる「居場所作り」のためにさまざまな活動を行っている。）の養成</li> <li>7. 援助を必要とする学生のための教職員との連携</li> </ol>

## ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：東北工業大学ホームページ

1. 大学の教育研究上の目的に関すること（大学、学部、各学科）  
学則第2条、第3条  
[http://www.tohtech.ac.jp/kdf1/2018gakusoku\\_gakubu.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/kdf1/2018gakusoku_gakubu.pdf)
2. 教育研究上の基本組織に関すること  
<http://www.tohtech.ac.jp/outline/organization/index.html>
3. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること  
教員組織、教員の数  
<http://www.tohtech.ac.jp/outline/number/index.html#teachers>  
各教員が有する学位及び業績  
<https://www.focommit-tohtech.jp/kyoindb/List/>
4. 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること  
入学者に関する受入方針  
大学  
<https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html>  
工学部、ライフデザイン学部の各学科  
<http://www.tohtech.ac.jp/admission/policy/index.html>  
入学者の数  
[http://www.tohtech.ac.jp/disclosure/student\\_change/index.html](http://www.tohtech.ac.jp/disclosure/student_change/index.html)  
収容定員  
<http://www.tohtech.ac.jp/outline/number/index.html#syuyou>  
在学する学生の数  
<http://www.tohtech.ac.jp/outline/number/index.html#student>  
卒業又は修了した者の数  
<http://www.tohtech.ac.jp/disclosure/graduate/index.html>  
進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況  
<http://www.tohtech.ac.jp/disclosure/career/index.html>
5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること  
学部授業科目、授業の方法及び内容（ページ下段 学生便覧、シラバス）  
工学部 <http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/index.html>  
ライフデザイン学部 <http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/index.html>  
年間の授業計画（2,3 ページ 工学部、ライフデザイン学部共通）  
[https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED\\_syllabus2019.pdf](https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf)
6. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること  
学則第14条、17条  
[http://www.tohtech.ac.jp/kdf1/2018gakusoku\\_gakubu.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/kdf1/2018gakusoku_gakubu.pdf)  
学位授与方針  
<http://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html>  
工学部 電気電子工学科（学位授与方針、進級・卒業条件）  
<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/elc/index.html>  
[http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf)（39ページ）

情報通信工学科 (学位授与方針、進級・卒業条件)

<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ice/index.html>

[http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf) (61 ページ)

建築学科 (学位授与方針、進級・卒業条件)

<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/arch/index.html>

[http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf) (83 ページ)

都市マネジメント学科 (学位授与方針、進級・卒業条件)

<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/civ/index.html>

[http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf) (103 ページ)

環境エネルギー学科 (学位授与方針、進級・卒業条件)

<https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/eie/index.html>

[http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/doc/ED_syllabus2019.pdf) (125 ページ)

ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科 (学位授与方針、進級・卒業条件)

<https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/cd/index.html>

[http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_syllabus2019.pdf) (37ページ)

安全安心生活デザイン学科 (学位授与方針、進級・卒業条件)

<https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/sd/index.html>

[http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_syllabus2019.pdf) (57ページ)

経営コミュニケーション学科 (学位授与方針、進級・卒業条件)

<https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/mc/index.html>

[http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD\\_syllabus2019.pdf](http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/doc/LD_syllabus2019.pdf) (75ページ)

## 7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

キャンパスマップ

<http://www.tohtech.ac.jp/outline/campusmap/index.html>

八木山キャンパス

<http://www.tohtech.ac.jp/campus/yagiyama/index.html>

長町キャンパス

<http://www.tohtech.ac.jp/campus/nagamachi/>

附属施設

<http://www.tohtech.ac.jp/outline/institution/index.html>

## 8. 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

<http://www.tohtech.ac.jp/admission/outline/tuition/index.html>

## 9. 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

学修支援

<http://www.tohtech.ac.jp/dept/human/support/index.html>

※ STAC システムの活用

学生に関する情報(成績、取得単位、授業出席状況、課外活動、学生生活、就職活動など)をデータベース化し、教職員が学生一人ひとりの状況に応じて適切な指導方法を模索できるツール。教職員が情報共有し、連携した指導が行える。

経済支援

[http://www.tohtech.ac.jp/admission/financial\\_support/index.html](http://www.tohtech.ac.jp/admission/financial_support/index.html)

就職支援

<http://www.tohtech.ac.jp/career/index.html>

心身の健康等に係る支援

<http://www.tohtech.ac.jp/campus/wellness/index.html>